

漢字の特性を活用した指導と啓発活動

特別奨励賞



福井県 県立芦原青年の家
主任 平田 幸憲

この度は栄えある白川静漢字教育賞に選んでいただきありがとうございます。子どもたちへの漢字指導での疑問から出発した実践も17年の歳月が過ぎました。その中には文字文化研究所専務理事の故宇佐美公有氏をはじめ同僚の方々等の多くの御応援や御指導等を賜りました。大変励みとなりました。改めて感謝申し上げます。

今回の受賞をさらなる励みとし、研究・実践を重ねていきたいと存じます。この度は本当にありがとうございました。

1 実践の概要

学校教育では教科を越え、漢字の成り立ちを用いた漢字指導や熟語の成り立ちを用いた用語指導を行い、また学校教育以外では児童向けとしてクラブ活動やイベントでのハンコづくりや押し花付き古代文字葉を作成・配付を行った。その一方で大人向けとして古代文字を用いた書道のグループ展の運営・作品出品を行う等、広く一般の方々にも古代文字に親しんでいただいた。

2 実践の内容

(1) 小学校での指導

漢字を覚えてもなかなか使えるようにはならない。そこで成り立ちや意味を含めた指導を行った。併せて、部首や書き順の指導も行った。

(2) 中学校での指導

漢字の熟語の構成方法を科学用語の指導に持ち込み、用語の理解を深めさせた。併せて、漢字の部首による誤字を部首の意味から防いだ。

(3) 一般向けの啓発活動

子ども向けには、小学校でのクラブ活動や現職場のイベントでハンコづくりを取り入れ、古代文字に親しませた。また、押し花付き古代文字葉を作成・配付し、子どもの興味を持たせた。

大人向けには古代文字の作品展の企画・出品、篆刻作品の制作・出品を行った。



3 実践の成果

- 漢字の成り立ちの指導を通して、児童が漢字に親しみを抱くようになった。
 - 児童が漢字そのものに意味があることを理解し、間違いが減った。
 - 児童が同じ部首をもつ漢字の規則性を自然と理解できた。
 - 実物の導入により、児童が感動をもって学習に取り組めた。
 - 生徒の科学用語の理解が進み、誤字も減った。
 - 作品発表などを通して、一般の方々にも古代文字の魅力等伝えた。
- 以上の成果が得られた。今後も研鑽を重ねたい。